

はばたき

橋北小学校
学校だより

No.18

2月の活動紹介号
令和4年3月2日

3月に入り、寒い中にも時おり春の光が感じられる日もみられるようになりました。

相変わらず、新型コロナウイルスが猛威をふるっています。どの学年も心を込めて準備や練習に取り組んできた「6年生を送る会」。特に5年生は、実行委員さんたちが中心となって計画、準備を進めてきました。しかし、この状況の中ですので延期とし、各学年の発表は、ビデオ撮影したものを6年生にみてもらい、5年生が1～4年生を代表して6年生と一緒に「6年生を送る会」を行います。

◆「あいさつ名人」への道

*児童集会「自分たちのあいさつをふりかえろう」(オンライン集会)

2月の児童集会はオンラインで、テーマは「自分たちのあいさつをふりかえろう」でした。まずは、代表委員さんたちが作成した動画をもとに、どんなあいさつが気持ちよいかをみんなに投げかけました。次は、橋北小の子どもたちの登校の見守りをしてくださっている鈴木さんと加納さんへのインタビューの紹介です。鈴木さんからは、10年ぐらい前は、「橋北小の子はあいさつが素晴らしい」と評判だったというお話や、大人から声をかけると挨拶できる子はいるけれど、中には、声をかけても挨拶が返ってこないこともある、と率直なご感想もいただきました。目をみて、相手に届く声で、自分からあいさつできる、よいあいさつの習慣をこの橋北小で育てていきたいですね。橋北小のあいさつ運動をさらに進めていきましょう！

*6年生によるプロジェクト ～あいさつで笑顔あふれる学校に～

もうすぐ卒業を迎える橋北小の先輩として、後輩に伝えていけることは何か。6年生が考えて、計画・実行した活動です。1月第4週と2月第3週に、昇降口や教室で朝のあいさつ運動に立ったり、元気よくあ



いさつができた人にスタンプを押すなどしてあいさつを広げる取り組みをしました。6年生が働きかけてくれた気持ちを受け止め、あいさつの習慣を広げていきたいですね。



トイレ用スリッパを用意しました。

かねてよりご要望の声をいただいていたトイレ用スリッパ。

衛生面を考え、トイレ用のスリッパを使用することにしました。みんなが気持ちよく使えるように、スリッパの並べ方を学級で指導しています。

◆三泗小中美術展出品作品

立体作品	2年	岡田廉音	「きつね」
	2年	古川瑞穂	「先生」
	3年	古市和瑚	「いろいろな世界」
	5年	加藤泰生	「いらっしゃい！すしやだよ！」
	6年	須藤想太	「サッカー選手」
	6年	松尾菜絆	「美容師」

平面作品	1年	名越継人	「クリスマスの日」
	1年	向出亜子	「おやつバイキング」
	3年	浅沼孝介	「灯がともっているモチモチの木」
	4年	川井清宗	「夜にだけ咲く花」
	4年	福山碧斗	「海の花」
	5年	山下幸也	「銀河鉄道の夜」

今年、橋北小学校から美術展に出品した児童たちの作品です。

どの作品も、丁寧に一生懸命取り組んだ様子が伝わってくる、素敵な作品です。



◆コミュニティスクール

運営協議会開催

2月10日 学校運営協議会（コミュニティスクール）委員の皆さんにお集まりいただき、今年度最後の運営協議会を行いました。学校教育活動の統括と学校アンケートの結果等をふまえ、委員の皆さまからご意見をいただきました。「タブレットの活用推進」「タブレットドリル活用上の課題」「宿題の量や自主学習について」などについて意見交換がなされました。いただいたご意見をふまえ、次年度の学校づくりにつなげていきたいと考えています。委員の皆さま1年間ありがとうございました。

◆三泗特別支援学級学習発表会(オンライン)

2月9日は特別支援学級の学習発表会がありました。例年は四日市市文化会館で行われる大きな発表会ですが、今年はオンラインでの発表会が開催されました。橋北小学校は、中部西小学校、中央小学校、橋北中学校、と同じグループです。『チーム橋北！～長縄・縄跳び～』を披露しました。キャッチフレーズ「失敗なんて関係ない ○回めざして がんばろう！ たのしもう！」の通り、どの子ども、今持てる力を精一杯出しきり、一人ひとりが最後まであきらめず、やり切った演技となりました。発表を終えた子どもたちの笑顔は達成感に満ちとても輝いていました。

各校の発表もとても素敵で、食い入るように見ていた子どもたち。中には知っている先生や友だち



がいて、画面越しに声をかけあったり、とても暖かい雰囲気の発表会でした。